

第22回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日 時 昭和50年10月1日(水)

午後2時～4時

2. 場 所 宇宙開発委員会会議室

3. 議 題

(1) Nロケット2号機の打上げに係る安全の確保に関する

審議について

(2) その他

4. 資 料

委 22-1 第21回宇宙開発委員会（臨時会議）

議事要旨

委 22-2 Nロケット2号機の打上げに係る安全

の確保に関する審議について（案）

第21回宇宙開発委員会（臨時会議）

議事要旨

- 1. 日時 昭和50年8月29日（金）  
午後2時～4時
- 2. 場所 宇宙開発委員会会議室
- 3. 議題 昭和51年度における宇宙開発関係経費の見積りについて

4. 資料

- 委21-1 第20回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨
- 委21-2 昭和51年度における宇宙開発関係経費の見積りについて（案）

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理	山 県 昌 夫
"          委員	網 島 毅
"          "	八 藤 東 福
"          "	斎 藤 成 文
関係省庁職員等	
科学技術庁研究調整局長	伊 原 義 徳
"          "          宇宙開発参事官	園 山 重 道
運輸省大臣官房参事官	沼 越 達 也
	(代理：菊地)
気象庁総務部長	宇 都 宮 寛
	( " : 高谷)

郵政省電波監理局審議官

市 川 澄 夫  
( " : 寛 )

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長	上 島 史 郎
"          宇宙国際課長	塚 田 真 一
"          宇宙開発課長	今 村 宏 他

6. 議事要旨

(1) 前回議事要旨について

第20回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨が確認された。

(2) 昭和51年度における宇宙開発関係経費の見積りについて

事務局から資料委21-2に基づいて説明が行われ、以下の質疑応答が行われたのち、原案どおり決定された。

網島：文部省におけるスペースラブ計画への研究参加の経費はどの項目に入っているのか。

事務局：国際宇宙観測共同事業経費に入っている。

山県：宇宙開発事業団が担当するリモートセンシングの地上受信設備は、宇宙開発委員会の所掌に入るのか。

事務局：宇宙開発事業団が行う地球観測衛星の開発に関連するので、宇宙開発委員会の所掌に入ると解釈しているが、将来衛星の開発要素がうすれ、ナショナルセンター的のものになる場合には検討しなければならない。

山県：専門委員には夏に計画の見直しをしていただいたあと、宇宙開発関係経費の見積りについては従来何の連絡もしていなかったが、今後何らかの形で通知してはどうか。

事務局：専門委員の方々には見積りを配布するようになりたい。

なお、本日の決定は総理大臣あて意見具申することとしたい。

## Nロケット2号機の打上げに係る安全の 確保に関する審議について(案)

昭和50年10月1日

宇宙開発委員会

決 定

昭和50年1～2月期に予定されているNロケット2号機の打上げに係る安全の確保に資するため、次により調査審議を行うものとする。

1. Nロケット2号機の打上げにおいて宇宙開発事業団が実施しようとしている安全対策に関する次の諸点について調査審議する。

- (1) 地上安全
- (2) 飛行安全
- (3) 安全管理体制

2. 1.の調査審議は、安全部会において行い、昭和50年11月末までに終わることを目途とする。